

ウリバリ・コスタリカ国連大使スピーチ

去年の11月に、「ARMS DOWN!」キャンペーンはコスタリカでスタートしました。

ノーベル平和賞受賞者でもあるオスカー・アリアス大統領、ウィリアム・ベンドレイWCRP国際事務総長、ジョン・マレスカ国連平和大学総長 およびコスタリカ政府関係者と国際組織が、世界中から集まった150人の青年宗教者に加わり、署名用紙に最初の賛同者としてサインしました。

そのメッセージはシンプルですが力強いものでした。軍備費の削減、開発投資の増額と、人々の生活水準の改善です。

10カ月後の今日、私たちはキャンペーンの終了のためにここに集まりましたが、平和、人間開発、人権、ヒューマンセキュリティや人間保護のための努力をやめてしまうわけではありません。これらの努力はできる限りのやり方で続けられるべきであり、特に普遍的な機関である国連を中心に行われるべきです。

キャンペーンは素晴らしい成功をおさめました。世界中の諸宗教を代表する2千万人近くの青年が、以下の3つのゴールのために、個人の違いを乗り越えて、やる気を合わせて、願いを高めたのです。

1. 核兵器の廃絶
2. 通常兵器の拡散と乱用の防止
3. 軍事費の10%を削減し、国連ミレニアム開発目標を2015年までに達成できるように再分配する。

キャンペーンの結果は、満足できる理由を十分与えてくれましたが、平和と開発に関しての懸念事項もまだ沢山あります。

私たちがここに集まっている今日でも、2千万人の若い「ARMS DOWN!」の署名者が住む国の多くはいまだに生活改善の代わりに資金を兵器の備蓄に使っているところがあります。

それらの国々にとって安全保障とはシンプルで、危険で時代遅れな軍隊モデルに基づいているのです。しかし持続可能な安全保障とは異なったモデルに基づいていなければならない。そのモデルとは人間開発、自由、寛容、機会と法の支配です。

コスタリカはもう長く、そういった価値観を持ち、実践してきました。それがわが国の外交政策の土台でもあります。ですから我々はパンギムン国連事務総長の軍備管理に関する5ポイントのアジェンダをサポートします。また、非武装国として、対外安全保障に関して我々は国際機関や国際法に頼っています。

2010年は、国際青年の年でもありますし、そのためにミレニアム開発目標の達成が各国政府や国連によって見直されている時でもあります。

ここまでの結果を見てみると色々ですが、結論は明かです。世界が2015年までにMDGsを達成できるようになるには、より努力をして、リソースを投資して、賢明な決断を下して行動に移さなければいけません。その賢明な決断とは軍事予算の削減です。

これが、2千万人の若者から届けられた声です。その声をさらに大きくしようではありませんか。

わが国と政府を代表して、皆様のご支援に感謝いたします。

(了)